

<AIPPI セミナー開催報告>

AIPPI・JAPANインド特許セミナー【オンライン】

インドの特許法および運用に関する最新情報

1) 開催日時：2022年6月23日（木）13:30～15:00

2) 講演者：KAN AND KRISHME 事務所

Sharad Vadehra 氏（マネージングパートナー、弁護士、登録弁理士）

<主なトピックス>

① 手続に関する最新情報

- ・インド特許庁による統計（2015年～2021年）の紹介
- ・近年における特許審査体制の強化
（審査官の増員、審査・特許付与の大幅な迅速化）
- ・インド特許庁における滞貨低減の現状と見込み
- ・知的財産に関する手続の最近の改善点（デジタル改革）

② 法律に関する最新情報

- ・2014年の医薬関係ガイドライン以降の実務について
- ・インドと日本との間の二国間特許審査ハイウェイ（PPH）
- ・インド改正特許規則 2019年～2021年の解説
- ・知的財産審判部（IPAB）の廃止とデリー高等裁判所に新たに設置された知的財産部門（IPD）で取り扱う事件の範囲について
- ・最近の判決紹介

Pharmacyclics LLC v. Union of India and Ors.

Natco Pharma Limited vs Bayer Healthcare LLC and Natco Pharma Ltd vs Bristol Myers Squibb Holdings

Astrazeneca Ab & Anr. v. Emcure Pharmaceuticals Limited and Msn Laboratories Limited

Ferid Allani v. Union of India

Interdigital Technology Corporation & Ors. v. Xiaomi Corporation & Ors.

③ インド特許を取得すべき理由

- ・インドは発明を活用できる巨大市場であり、成長率も高い
 - ・インド特許庁は IP5 に比較して、平均的な権利取得、維持コストに優っている
 - ・インド vs 米国 vs 欧州の特許庁の制度比較
 - ・インドで早期権利化のために最善のアプローチ
- など

本セミナーは、企業知財部や特許事務所等においてインド特許実務に携わっておられる方々にとって、非常に有意義な内容であった。

以上



Sharad Vadehra 氏